

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	デリアム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.460	△RG	0.043	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：デリアム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：イラプションプロ・ハイブリッド

フレアーの幅 インチ

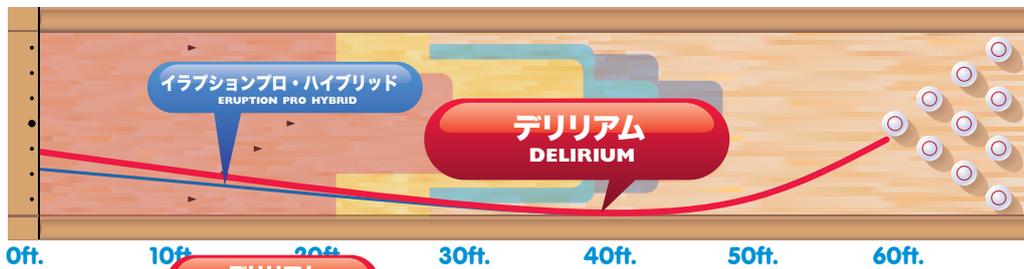
PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工

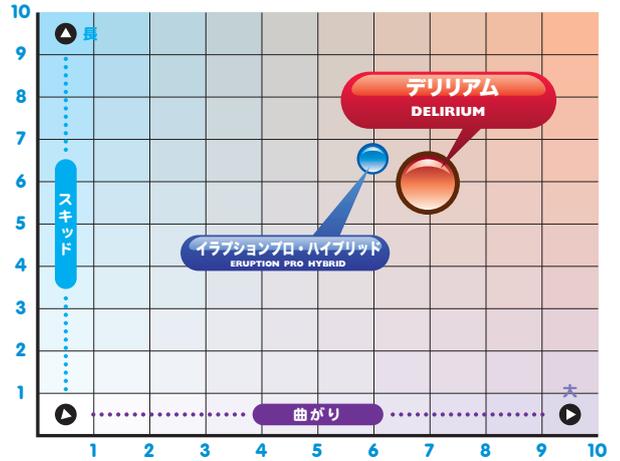
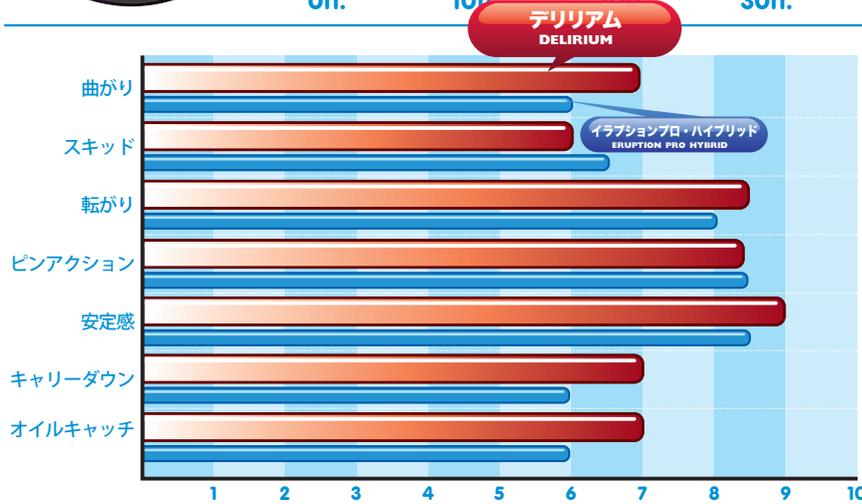
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今回発売されるDELIRIUMのようにコロンビア社でMediumを中心としたボールを作成しようとした場合、私もやはりBend-It Pearlカバーストックを思い浮かべます。今まで使われたカバーストックでスキッド力の高さやドライゾーンでのグリップ力をコロンビア社の中のカバーストックと比較すると、手前の薄いオイルに一番スキッドを保つことができ、ドライゾーンでのグリップ力はちょうど中間の強さを示します。このMediumコンディションに一番適正なBend-It Pearlカバーストックと融通性と万能性に優れたResurgence coreは、今まで数多くの生まれてきたコロンビア製品の中で、Mediumから以下のコンディションで最も信頼性の高いパフォーマンスを発揮してくれます。その一つに持続性のある転がりに定評のあるResurgence coreが、スキッドしながらピンヒットまで転がり続けることでDELIRIUMの動きに安定を与えているのがわかります。

今回はERUPTION PRO HYBRIDと比較投球を行いました。私のイメージだとERUPTION PRO HYBRIDよりも曲りが早めに感じるのですが、奥での動きも柔らかく扱いやすく切れるので、ポケットまで持ち込みやすいボールだと思いました。リアクションはややアークを伴うフリップ感とも言えは良いのでしょうか、オイルが多い部分での挙動はありますが、フランチャイズを含めたコンディション事情で、結構メインに近いボールとして使えるのではないかと思います。

Mediumを中心にその下までをカバーする領域となると過剰反応するリアクションは必要ありません。コントロール性と柔らかい軌道。それに限ると思います。

特記事項

コロンビア最新作はミディアムコンディションから勝負できる性能のボールとして仕上げてきました。遅めのコンディションで勝負にでたとき、過剰反応で困っている方はこのボールはベストです。